

かっぱ通信

発行 北川かっぱの会
<https://kitagawa-kappa.org/>

2026年3月20日
vol.160

かっぱ通信も
春の装い号 

土曜講座 今年も寒空の下 野鳥観察会で生きものに触れました



ジョウビタキのオス(上)
存在感のあるアオサギ(下)

1月17日土曜日、今年度の北山小学校 土曜講座の最終回です。毎回の講座では天気のこと心配ですが、この野鳥観察会は毎年冬晴れに恵まれ、心配はありません。

この野鳥観察会の開催の悩みは、対象学年をどうするかです。野鳥観察は低学年の子にはちょっと難しいところがあり、かつては3年または4年生以上にしていました。ただ、高学年に絞ると、参加者がぐっと少なくなってしまいます。

また、低学年でも参加したい子はいました。今回は「1、2年生にとってはむずかしい内容です。特に興味、関心がある子は参加してください」として募集をかけました。

その結果、子ども（1、2年生含む）9名、大人（中学生含む）8名、かっぱの会のスタッフ7名の大所帯で、賑やかな観察会となりました。

まずは北山公園の池で、存在感あるアオサギがいました。北山公園を線路沿いに進みます。ツグミ、メジロ、カシラダカなどを観察し、八国山へ。八国山の湿地帯は今年はすっかり水気が少なく、鳥の水場として機能していませんでした。でも、観察を続け、モズ、シメ、ヒヨドリ、オオタカなどを観察できました。

再び北山公園に戻り、観察会を続けました。高倍率の望遠鏡で鳥のアップを捉えることができ、生き生きとした姿に子どもたち皆、十分に楽しむことが出来たと思います。(P2へ)

本日見られた鳥は、ハクセキレイ、(セグロセキレイ、キセキレイは永島さんと一部の人だけ?)、カワウ、アオサギ、ダイサギ、ツグミ、メジロ、カシラダカ、シジュウカラ、モズ、シメ、ヒヨドリ、オオタカ、ジョウビタキ、カラヒワ、カルガモ、マガモ、ガビチョウ…そしてカラスの巣。合計19種類もの野鳥を観察できました。(遊星菌車)



木の實をついばむシメ

報告 北山小4年生 総合的学習 北川の水について調べよう!

1月23日(金)、北山小4年生の総合的学習「北川の水について調べよう」の授業を受け持ちました。授業はクラスごとに講義形式で「きれいな川とは」、「川の水はどこからくる?」、「川の水はどうしてよごれるのか?」、「川のよごれぐあいはどうに調べる?」、「どうすればきれいな北川を守ることができる?」などについて対話形式で学習しました。

当日は、各児童に北川の水と丸池の水について透視度の測定も体験してもらいました。北川の水と比べ、丸池の水の透視度が低いことがわかりました。また、前川や北川下流の柳瀬川や新河岸川の透視度と比べ、柳瀬川や新河岸川の透視度が低いこともわかりました。児童はみな興味深そうに川の水の学習を行っていました。

かっぱ会員のエッセイ / 子育てで出逢った生きもの達

私が生きもの達と本格的に触れあい始めたのは、子育て中かもしれません。子ども達に自然と触れあってほしくて、アゲハチョウの幼虫を育て羽化させたり、カタツムリを飼って観察したり、短い間ですがカナヘビを飼ったり…

ベランダでのカマキリの産卵に成功し、何百匹ものカマキリの赤ちゃん達を野原に戻したときは、子どもより私の方が喜んでいたらかもしれません!

北川かっぱの会に入ってから、子ども達は網をもって北山公園で遊ぶようになりました。ヤゴ救出作戦で捕まえたギンヤンマが羽化したときは家族で喜んだなぁ。北山公園ではアジアイトトンボの美しさに心震えたり、見かけたタヌキにほっこりしたり…。八国山でみつけたルリビタキの可愛らしさも忘れられません。北山公園、八国山エリアの生きもの達との出逢いは私の宝物です。(み)



玄関で羽化したギンヤンマ



北山公園で遊ぶ子ども達



美しいアジアイトトンボ



かっぱの楽校 生き物講座 第130回 川底で生きる

川底の石の間やその下などにも色々な生きものがあります。

かっぱ通信154号で「ガガンボ」を紹介しましたが、今回からカラー印刷になったので、今の時期にみられる北川の川底で生きるものたち(底生動物)をお見せします。



網を川底につけて、小スコップで網の上流の川底の石や泥をかき回せばよし！

魚より簡単にとれますが、ヤゴやカゲロウなど昆虫の幼虫や貝類、イトミミズ、ミズムシなど…川底のようすや流れによってとれるものは違います。

ところで、川底の生きものを調べることで、その場の水質を知ることができるのです！

↑シャーレの線は5ミリ間隔

生きものを使って水質の判定をすることを「生物学的水質判定」といい、判定に使う生きものを「指標生物」といいます。北川ではややきれい～きたない水の指標生物が見られることが多いです。

かっぱ通信61号でも「川の生きもので水質チェック」を紹介しています。毎年、環境省+国交省で全国水生生物調査が行われており、小学生も参加、個人でもOKです。ちょっと早いです、夏休みの自由研究にもいいと思いますよ。

下のQRコードで、環境省の関連ページをチェックしてみてください。「北山いきものクラブ」でも、4月か5月に川底の生きものの観察会を企画しますよ！ 〈ひ&康〉



刻まれてもへっちゃら。
分身してふえちゃうもんね！
うちらアメリカからきて、
水の汚れに強〜いけど、
日本の仲間はきれい好き！



川底住人代表
ウズムシ(フラナリア)

お知らせ

かっぱ通信が変わりました！

ご覧のように、160号からのかっぱ通信は一新することになりました。

A4版、オールカラーとなり、風景や生きもの達の様子をより鮮明にお伝えできるようになったと思います。

これに合わせて、ホームページ、ブログ、フェイスブック、インスタグラム、ライン等のWEB上での情報も充実させていく予定です。

かっぱ通信とあわせて、WEB上の北川かっぱの会もお楽しみください。

スケジュール

2026年4～6月 活動予定 性別、年齢、経験不問!!

北山いきものクラブ(北山公園善行橋近く)

4月12日(日) 5月10日(日) 13-15時

採れた魚の水族館展示など 雨天中止

定例川そうじ(北山小正門前集合)

4月11日(土) 6月13日(土) 9-11時

手ぶらでもOK お気軽にどうぞ! 雨天中止 [☉ボランティア募集](#)

北川クリーンアップ(北山公園管理事務所前、水道橋、他集合)

5月17日(日) 10-12時 長靴着用 雨天中止 [☉ボランティア募集](#)



この季節、北川の中から
見る景色は素敵ですよ



← 上記以外のスケジュールはホームページへ

スケジュールは変更となる可能性があります。最新情報をご確認ください。

WEB情報

①報告 北山公園整備計画等意見交換会

来年度から公園内水路の改修工事が始まります

[詳細はブログ記事へ\(2月15日分\)](#) →

②予告 北川かっぱの会の総会を開催

3月28日(土) 15:40~18:00 (中央公民館)

持続可能な会の運営を旨とした議論を行います

← [詳細はブログ記事へ\(3月8日分\)](#)



北川かっぱの会

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷 北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。

自然や野外遊びが好きな方、自然保護活動に興味のある方、趣旨に賛同できる方などを広く募集中です。(参加、入退会自由)

一度、気軽に体験しにいらしてください!

[詳細はホームページへ](#) →



編集後記

先日わが家の狭い庭に、いつもは見かけない鳥が…。よ〜く見てみたら、ウグイスではないですか!? ちょっと嬉しくなりました。もう春ですね。

発行 北川かっぱの会 4 連絡先 CZT12221@nifty.ne.jp